

# 《上下水道部 平成31年度予算見積方針》

## 部内マネジメント責任者

部長 辻川 明宏

総括副部長 永池 孝志

副部長 佐々野 哲郎

## 予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

### 【施策全体の方向性、基本的な考え方】

市民のみならず、安全、安心で安定した水の供給を行うとともに、下水道を通じ、豊かな琵琶湖の自然を守り、快適な暮らしを支えます。また、信頼される地方公営企業として、一層の経営努力とサービスの向上に努めます。

- ◆「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、上水道施設の整備更新・耐震化や適切な維持管理を行います。
- ◆下水道の整備を進めるとともに、未水酸化世帯の下水道への早期接続を促します。
- ◆災害に強いライフラインの確保のため、耐震性・長寿命化を考慮した下水道施設の更新に取り組みます。
- ◆農業集落排水施設の公共下水道への接続について、計画を前倒して平成31年度中に一部接続を行い、維持管理の効率化による維持管理費の軽減を図ります。
- ◆水道ビジョンおよび下水道事業第8期経営計画に基づき、経営基盤強化の取り組みを進め、健全経営に努めます。

### 【重点事項】

- ◆管路更新事業  
平成23年度に策定した管路整備更新基本計画に基づき「基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所にいたる管」の更新を優先的に進めます。
- ◆管路診断業務  
現在有収率は高いレベルにあります。今後は管路の経年化が進み漏水の増加が見込まれることから、現在の水準を維持するため漏水調査の拡充を行います。
- ◆ロクハ浄水場耐震補強事業  
ロクハ浄水場の耐震性の向上を図るため、平成31年度完成を目標に、沈殿池、ろ過池等の耐震補強工事を行います。
- ◆農業集落排水公共下水道接続事業  
農業集落排水区域を公共下水道区域に切り替えるため、接続に向けた工事を行います。平成31年度は、切り替え後の処理場の跡地利用に向けて、常盤5地区の最終清

### 【健康都市づくりの推進に向けた考え方、主な事業】

- 上下水道部は、健康都市基本計画の基本方針の一つである「まちの健康づくり」の推進に向けて、下記事業を実施します。
- ◆「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、上水道施設の整備更新・耐震化や適切な維持管理を行います。
  - ◆公衆衛生の向上のため、下水道の整備を進めるとともに、未水酸化世帯の下水道への早期接続を促します。

## 【見 積】平成31年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額 (千円)		平成31年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課 (水道事業)	191,399	299	水道事業については、施設の更新や耐震化に、下水道事業については、長寿命化対策および農業集落排水処理施設の公共下水道接続に向けた取り組みに重点を置いた予算編成となっています。
上下水道総務課 (下水道事業)	1,582,609	1,582,609	
上下水道施設課	2,842	2,566	
合 計	1,776,850	1,585,474	

## 【前年度】平成30年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額 (千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課 (水道事業)	111,873	473	
上下水道総務課 (下水道事業)	1,505,527	1,505,527	
上下水道施設課	2,829	2,553	
合 計	1,620,229	1,508,553	

## 【増 減】(【見積】-【前年度】)

所 属	予算額 (千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課 (水道事業)	79,526	▲ 174	水道事業における、歳出総額の増はロクハ浄水場新館耐震工事業費増加によるものです。また、一般財源が減少しているのは、一般会計の負担となる配水池整備時の消火水量増加分に係る企業債償還利息が減少していることによるものです。下水道事業においては、農業集落排水施設処理場最終清掃業務に伴う農業集落排水事業の増加によるものです。
上下水道総務課 (下水道事業)	77,082	77,082	
上下水道施設課	13	13	
	0	0	
	0	0	
合 計	156,621	76,921	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費 (千円)	一般財源		事業概要
管路更新事業	483,753		0	管路整備更新基本計画に基づき「基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所にいたる管」の更新を優先的に進めます。
浄水場施設整備事業	883,866		0	ロクハ浄水場および北山田浄水場の耐震化を行い、浄水施設の耐震補強を進めます。
農業集落排水公共下水道接続事業	595,900		0	農業集落排水区域を公共下水道区域に切り替えるため、平成31年度内の接続を目標に、引き続き工事を実施します。
農業集落排水施設処理場維持管理費	209,285		28,394	農業集落排水施設処理場の跡地利用に備えて、最終清掃業務を行います。

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費 (千円)			扶助費 (千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
上下水道総務課【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
上下水道施設課【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
ロクハ浄水場【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
北山田浄水場【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
給排水課【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
上下水道総務課【下水道事業】	0	0	0	0	0	0	
上下水道施設課【下水道事業】	479	479	0	0	0	0	
給排水課【下水道事業】	0	0	0	0	0	0	
合 計	479	479	0	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

<p>【水道事業】</p> <p>平成27年度に中間見直しを行なった水道ビジョン、水道事業経営計画および管路整備更新基本計画に基づき、中長期的な経営の健全性を保ちながら、浄水施設の耐震化や、経年管の更新に対する投資経費を大きく配分しました。</p> <p>日常的な浄水場の運転や維持管理については、ロクハ浄水場耐震補強工事の影響による県からの受水量の増や下水道放流の増などによりコスト増が見込まれますが、そうした中でも極力最低限の経費を見積もるよう努めました。</p> <p>【下水道事業】</p> <p>平成28年度に草津市下水道事業第8期経営計画を策定し、計画的に施設の長寿命化対策を進めます。また農業集落排水事業にかかる維持管理経費の削減に向け、農業集落排水施設の公共下水道への接続のための費用を大きく見積りました。</p> <p>施設の維持管理については、流域下水道維持管理負担金が経費の大きな割合を占めており、大幅なコスト削減は難しい状況にあります。経営の健全性を保ちながら必要経費を見積り、安全・安心に下水道をご利用いただけるよう、適切な維持管理に努めます。</p>
---